



2～6人用
10歳以上
10分



未来予測を、実現するのが早い(と専門家が考えている)順に並べる協力型ゲームです。

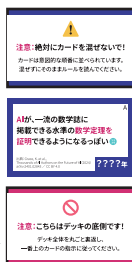
◆内容物

ミライデッキ 1組: 上から順に

・「混ぜないで」カード 1枚

・ミライカード 40枚

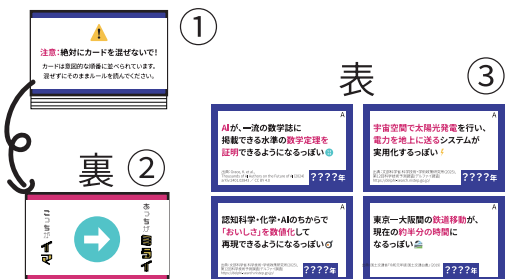
・「底側です」カード 1枚



注意: ミライデッキは意図的な順番に並べてあります。**絶対に混ぜずに**、指示されるまで**デッキの中身を見ないでください**。

◆ゲームの準備

- ミライデッキを、「混ぜないで」カードが上側になるように置きます。
- ミライデッキの**上から「混ぜないで」カードだけ**を引き、**裏返してから**テーブル中央に置きます。裏面には「こっちがイマ／あっちがミライ」と書かれています。
- ミライデッキの**上からミライカードを4枚**引き、**絶対に裏面を見ないようにして**、表向きのままテーブル中央に置きます。この4枚は、右上に同じアルファベットが書かれています(例: 初めて遊ぶ際には「A」が4枚)。
- ミライデッキの残りのカードは、そのまま脇によけておいてください。



◆ゲームの概要と目的

『ミライ来たっばい』は、専門家等による**未来予測**を使った協力型・トークゲームです。

未来について全員で本気で話し合い、4つの未来予測を**実現するのが早い(と専門家が考えている)順**に並べることを目指します。

◆ミライカードの見方

ミライカードの表側には、実在の研究機関や企業などが発表した、「**西暦〇〇〇〇年にはこういうことが実現するだろう**」という未来予測が書かれています。※1

ただし、いつ実現するか具体的な西暦は表側には書かれていません。

各ミライカードの裏側(まだ見ないでくださいね!)には、その予測が実現するとされている**正解の西暦**を載せています。



◆遊び方

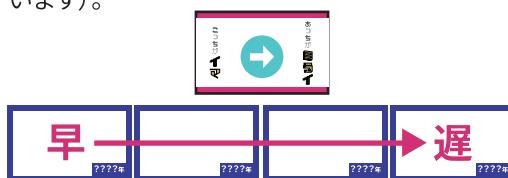
ミライカード4枚を、**実現するのが早いと思われる順に**、横一列で並べましょう。

その予測が実現し、自分たちの生活の中に存在している場面を想像しながら、**全員で本気で話し合ってください**。

厳密な制限時間は設けませんが、5分を目安とします。

ミライカードを並べる際は、「混ぜないで」カードの裏面を使って、「**こっちがイマ**」の側により**早そうなもの**を、「**あっちがミライ**」の側により**遅そうなもの**を置きます。

カードを動かす際は、**裏側が見えないように気を付けてください**(正解の西暦が分かっちゃいます)。



※1 各カードには、発表元の商用利用ガイドライン等に従って出典を記載しています。

全員が並び順に納得したら、結果発表の時間です。並べたミライカードを、「こっちがイマ」に近い方から順に裏返していきましょう。

各ミライカードの裏側には、正解の西暦が書かれています。**4枚の西暦が昇順(小→大の順)に並んでいれば全員の勝利**、そうでなければ全員の敗北です。※2 ※3



◆遊び終わったら

今回使用した**4枚のミライカード**を、表側が上になるように**ミライデッキの底**に入れます。



続けて遊ぶ場合は、ミライデッキの上から4枚のミライカードを引き、次のゲームを始めます。

ゲームを終える場合は、「**混ぜないで**」カードを表向きにしてミライデッキの**一番上**に置き、デッキごと封筒へと戻します。



最初の10回までは、必ず見たことのないカード4枚のセットで遊ぶことができます。

ゲーム終了後、ミライデッキの一番上に『**ミライ来たっぽい**』のロゴが現れていたら、10回目のプレイが終わった合図です。以降は、初プレイの方々に遊んでもらったり、ミライカードを好きに混ぜて遊んだり、自由にお楽しみください。

※2 勝敗は正直二の次で、やってほしいのは「未来について全員が本気で語り合うこと」です。人生はなかなかないですからね、そんな時間。

※3 SNSにプレイ画像を上げていただく際には、正解の西暦と未来予測がセットで写らないようご配慮をお願いいたします。

◆向こう数十年間にわたるお願い

このゲームは購入してから年月が経つと、**本当に未来がやってきて**、ミライカードに書かれている未来予測が当たったり外れたりします。予測が外れた場合、そのカードには**誤情報**が掲載されていることになりますから、『ミライ来たっぽい』は時間経過と共に、段々**正しくないゲーム**になる可能性が高いです。

予測が外れていることが分かった場合、ミライカード裏面の西暦を、以下のとおり(ペン等で)書き直してください。



- 書かれている西暦よりも早くその予測が**実現した場合**：「ミライ来たっぽい」と言いながら、そのカードの西暦を、**実際に実現した西暦**に書き換えてください。
- 書かれている西暦の年が終わっても、その予測が**実現していない場合**：「ミライまだっぽい」と言いながら、そのカードの西暦を、**とりあえず10年後**に書き換えてください。

向こう数十年、ミライが来るまでお世話になります。よろしくお願いいたします。

◆クレジット

- デザイン、ルールライト、DTP：木谷地ぬん
- 発行：Be Catchy Games
- スペシャルサンクス：福岡テストプレイ会

◆影響を受けた／参考にしたもの

- ボードゲーム『Timeline／タイムライン』シリーズ(Frédéric Henry, 2010～)
- 曲『Local Distance feat. D.K.X.O』(TANAKA KARIOS, 2011)
- ゲームポエム集『バビルサの牙』(依西みどり, 2022)
- ボードゲーム『Unlock!／アンロック!』シリーズ(Space Cowboys, 2017～)

web: <https://becatchygames.themedia.jp/>

email: turururu0309@gmail.com

X: @be_catchy